

臨床研究に関するお知らせ（情報公開文書）

朝倉医師会病院 リハビリテーション科では、過去の診療記録（電子カルテ）等を用いた臨床研究を実施しております。本研究は、患者さんに新たな検査や治療をお願いするものではなく、過去のデータのみを集計・解析するものです。患者さんのプライバシーの保護には最大限の配慮を払って実施いたします。本研究に関するお問い合わせ、またはご自身のデータが使用されることを希望されない場合は、下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

1. 研究課題名

超高齢 HFpEF 患者の転帰に関連する因子の検討 ～フレイルと歩行再獲得に着目して～

2. 研究の意義・目的

心臓の働きが比較的保たれている心不全（HFpEF）の高齢患者さんは、筋力や活力が低下する「フレイル」を合併しやすく、退院後の生活に影響を与えやすいことが分かっています。本研究では、過去に入院された患者さんのデータを用いて、リハビリテーションによって歩行能力を再獲得することが、その後の回復（転帰）にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。この研究結果は、今後のより良いリハビリテーション治療の提供に役立てられます。

3. 研究の対象となる患者さん

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、当院に心不全の増悪で入院され、リハビリテーションを実施された患者さん

4. 研究期間

倫理委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日（予定）

5. 使用する情報（データ）の項目

日常の診療記録から以下の項目を抽出して使用します。

- 患者さんの基本情報（年齢、性別など）
- 入院時の状態（フレイルの有無、血液検査結果、心臓超音波検査結果など）
- 退院時の状態（歩行獲得の有無、退院先などの転帰）
- リハビリテーションの経過（歩行獲得までの日数など）

※本研究のために新たな検査や採血などを行うことは一切ありません。

6. 個人情報の取り扱いについて

収集したデータは、氏名、生年月日、カルテ番号など、患者さん個人を直接特定できる情報をすべて削除し、匿名化した上で厳重に管理・解析します。また、研究成果を学会（第 10 回日本循環器理学療法学会学術大会など）や医学論文等で発表する際も、患者さん個人が特定されることは絶対にありません。

7. 研究への参加拒否（オプトアウト）について

ご自身の診療データが本研究に利用されることを希望されない場合、あるいは研究に関するご質問がある場合は、いつでも下記のお問い合わせ先までご連絡ください。利用の拒否をお申し出いただいた場合でも、今後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、お申し出いただいた時点で、すでに学会等で結果が公表されている場合など、データを削除できないことがあります。

8. お問い合わせ先・お申し出先

朝倉医師会病院 リハビリテーション科 研究責任者：矢田 雄也 共同研究者：國武 亮太
電話番号：0946-23-0077（※病院代表番号） 受付時間：平日 9:00 ～ 17:00